

「美味しかったあのお店が、突然閉店していた…」 「店主の急病で、やむなく店じまい…」

そんな寂しい経験、皆さんも一度はあるのではないのでしょうか。  
私はこの思いから、小売市場・商店街の未来について質疑しました。



### ■ 小売市場・商店街を次世代へ

単身世帯の増加や惣菜ニーズの拡大など、地域の消費行動は大きく変化しています。

私は、小売市場や商店街が地域の変化に対応した販売戦略を立てられるよう、神戸市が持つ人口動態や購買傾向などのデータを市場や商店街と共有し、戦略づくりに活かすべきと提案しました。

➔ これに対し市当局からは、商店街連合会や小売市場連合会などと連携しながら情報共有を進め、商店街の実情に応じた支援に取り組んでいくとの答弁がありました。

また、駅ナカ出店や移動販売、夜市イベント、小学校との連携などの成功事例を横展開し、地域のにぎわいづくりにつなげる取り組みを進めるとともに、定年後に商店街で再チャレンジしたい方とのマッチングなど、「つながり」を活かした支援も進めるよう求めました。

### ■ 市場・商店街のブランドと技術を守る事業承継(老舗の味と技術を守る)

長年続いてきた店舗が、店主の高齢化や後継者不足により閉店するケースが全国的に増えています。私は、小売市場や商店街の店舗は単なる個人事業ではなく、地域の文化や信頼を支える「地域資産」であると指摘しました。

目利きや職人の技術、秘伝の味は、一度失われると簡単には取り戻せません。そのため、技術やノウハウの可視化、後継者とのマッチング、第三者承継(M&A)なども含めた事業承継支援の強化や、モデル地区での承継プログラムの実施を提案しました。

➔ これに対し市当局からは、こうべ産業・就労支援財団など関係機関と連携し、事業承継に向けた支援や橋渡しを進めていくとの答弁がありました。

私は、地域に長く愛されてきた店を守り、神戸から事業承継の取り組みを全国へ発信していくべきと強く要望しました。

## 中央卸売市場

### ■ 神戸の“食の拠点”をさらに活性化 中央卸売市場の利用促進

神戸市中央卸売市場では、青果物の集荷拡大に向けた取り組みが進められています。

私は、その成果と課題を確認するとともに、さらなる利用促進や取引拡大に向けた取り組みについて質問しました。

➔ これに対し神戸市からは、集荷拡大の取り組みを継続しながら市場の利用促進を図り、取引拡大につながる施策を検討していくとの答弁がありました。

中央卸売市場は、市民の食卓を支えるだけでなく、飲食業や観光にも関わる神戸の重要な食の拠点です。今後も流通機能の強化と市場の魅力発信を進め、神戸の食文化を支える拠点として発展させていくことが重要だと提案しました。



中央卸売市場本場

神戸市議員平野達司(たつじ)事務所  
神戸市兵庫区東山町2丁目8-61 マルシン市場2F  
TEL:078-531-8780 FAX:078-531-5301  
メールアドレス:th.tatsuji.hirano@gmail.com



平野たつじHP

神戸市会の本会議、委員会を  
インターネットにて  
閲覧できます。



神戸市会